

【質 疑】（要旨）

- 委員）事業報告、評価指標ともに抽象的な表現が多くわかりにくい。
- 委員）地域包括支援センターの業務には、居宅介護支援事業所のケアマネジャーのへ指導・支援があるはず。患者の状況によっては相当の支援が必要なケースにも関わらず、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの姿が見えないことや、中には誰がケアマネジャーなのかも分からないケースもある。ケアマネジャーの質の向上を図り、モチベーションや責任感を高め、自覚を促す取り組みをしてもらいたい。
- 委員）確かに、忙しい医師の手を煩わせることを躊躇する面もある。在宅看取り増えている現状の中で、ケアマネジャーも主治医、家族、他職種と連携し支援を進めているが、まだまだケアマネジャーの動きが医師に見えないというご意見は承る。訪問看護と主治医とのやりとりの中にケアマネジャーが入れていないということが分かったので、今後はもっと主治医と関わっていききたい。
- 委員）ケアマネジャーによる支援が上手くいかないケースもある。（寝たきり等）症状が重い場合で、ケアマネジャーの対応によっては、家が荒れてゴミ屋敷になってしまうことがある。地域包括支援センターは、個別に支援するなどの対応だけでなく、講習会等で底上げを図ってもらいたい。
主治医とケアマネジャーとの関わりについて、医師にコンタクトする場面でケアマネジャーから要望あれば、この会議の報告に併せて医師会等の場で伝達したい。
- 委員）主治医にアポをとって伺うこともあるが、内容によっては連絡票で意見をいただくこともある。また、医師に伝達すること、相談することの線引きが難しい。何でもかんでも医師にお尋ねすることはないと考えているが、なるべく面接の時間をとっていただければありがたい。